



平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 横浜冷凍株式会社
 コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 鈴木 大介
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-210-0011

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	30,142	△5.0	1,211	9.7	1,297	13.1	796	20.1
24年9月期第1四半期	31,744	△7.5	1,104	△28.7	1,147	△28.6	663	△23.1

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 985百万円 (164.6%) 24年9月期第1四半期 598百万円 (65.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	15.40	—
24年9月期第1四半期	12.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	93,136	56,107	59.8
24年9月期	90,937	55,639	60.8

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 55,724百万円 24年9月期 55,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,500	△5.2	1,500	9.9	1,500	7.7	800	4.0	15.46
通期	111,200	0.1	3,000	177.0	3,000	143.3	1,700	754.3	32.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期1Q	52,450,969 株	24年9月期	52,450,969 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年9月期1Q	702,912 株	24年9月期	702,775 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期1Q	51,748,113 株	24年9月期1Q	51,748,833 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、復興需要により一部に緩やかな持ち直しが見られるものの、貿易収支は赤字基調が続き、設備投資も回復の兆しが見られず、引き続き弱含みで推移しました。政権交代による政策期待感から、先行して金融市場では円安、株高へ転じましたが、実体経済への反映はまだこれからの段階であり、当面、景気は横ばいの状態が続くと思われまます。海外においても米国の景気回復のテンポは緩やかであり、ヨーロッパ経済も依然としてマイナス成長が続いております。

このような状況のもと当社グループは、平成23年11月に発表した第四次中期経営計画(3ヵ年)の2年目を迎え、事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づき、業績の回復、向上に努めております。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高30,142百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益1,211百万円(前年同期比9.7%増)、経常利益1,297百万円(前年同期比13.1%増)、四半期純利益796百万円(前年同期比20.1%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(冷蔵倉庫事業)

在庫量は前連結会計年度より引き続き高い水準を維持し、計画どおり順調に推移しました。前期よりスタートさせた「物流アウトソーシングサービス」が軌道に乗り、通関収入や流通加工収入が増加し、業績に寄与いたしております。

貨物取扱量の状況は、冷凍食品の取り扱いが増加したことで、入庫取扱量は約2千トンの増加(前年同期比0.5%増)とほぼ横ばいでしたが、出庫取扱量は約21千トン(前年同期比7.0%増)、平均保管在庫量は約74千トン(前年同期比10.3%増)の増加となりました。

また、タイ国の連結子会社タイヨコレイ㈱においては、前期にフル稼働を開始したワンノイ物流センターが好調を維持しており、大幅な増収増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は5,750百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は1,549百万円(前年同期比18.0%増)となりました。

(食品販売事業)

水産物は、前連結会計年度に発生しました相場の下落は落ち着きを見せましたが、回復速度は遅く、取扱数量は増加したものの減収減益となりました。畜産物は、前年同期はチキン相場が低迷しておりましたが、その後の需給ギャップの解消により相場は回復し、増収増益となりました。農産物は、馬鈴薯は昨年8月の喜茂別パッキングセンター稼働により順調でしたが、玉葱が産地高の影響を受け前年同期を下回り、減収減益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高は24,388百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益は109百万円(前年同期比63.0%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2,198百万円増加し93,136百万円となりました。これは主に商品が418百万円、受取手形及び売掛金が2,691百万円増加したことや、有形固定資産が900百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ1,730百万円増加し、37,028百万円となりました。これは主に借入金が増加した2,019百万円増加したことや、賞与引当金が496百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ468百万円増加し、56,107百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ482百万円増加の3,182百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

①営業キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、191百万円の資金の増加(前年同四半期は6,839百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益1,297百万円、減価償却費849百万円及び仕入債務の増加額1,016百万円による資金増加と、売上債権の増加額2,690百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,175百万円の資金の減少(前年同四半期は1,874百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出1,511百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,465百万円の資金の増加(前年同四半期は7,590百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額2,011百万円による資金の増加と、配当金の支払額517百万円による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、「平成24年9月期 決算短信」(平成24年11月14日付)で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,700	3,182
受取手形及び売掛金	14,402	17,093
商品	14,003	14,422
繰延税金資産	441	326
その他	985	490
貸倒引当金	△26	△32
流動資産合計	32,507	35,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,243	25,788
機械装置及び運搬具(純額)	4,912	4,759
土地	19,382	19,053
リース資産(純額)	212	211
建設仮勘定	8	61
その他(純額)	366	350
有形固定資産合計	51,125	50,225
無形固定資産		
のれん	848	810
その他	1,630	1,631
無形固定資産合計	2,479	2,442
投資その他の資産		
投資有価証券	3,616	3,795
長期貸付金	71	75
その他	1,190	1,170
貸倒引当金	△53	△57
投資その他の資産合計	4,825	4,985
固定資産合計	58,430	57,652
資産合計	90,937	93,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,314	6,331
短期借入金	10,509	11,178
1年内返済予定の長期借入金	2,211	2,463
1年内償還予定の社債	47	40
リース債務	69	74
未払法人税等	191	440
賞与引当金	619	123
役員賞与引当金	27	6
その他	3,802	2,712
流動負債合計	22,793	23,370
固定負債		
長期借入金	11,242	12,342
リース債務	153	148
繰延税金負債	23	76
退職給付引当金	605	614
役員退職慰労引当金	302	297
資産除去債務	105	105
その他	72	73
固定負債合計	12,504	13,657
負債合計	35,297	37,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	34,061	34,341
自己株式	△520	△520
株主資本合計	55,716	55,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△214	△91
繰延ヘッジ損益	△28	9
為替換算調整勘定	△197	△190
その他の包括利益累計額合計	△439	△271
少数株主持分	362	383
純資産合計	55,639	56,107
負債純資産合計	90,937	93,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	31,744	30,142
売上原価	28,800	27,193
売上総利益	2,943	2,949
販売費及び一般管理費	1,839	1,737
営業利益	1,104	1,211
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	22	26
保険配当金	28	2
固定資産売却益	0	43
その他	83	124
営業外収益合計	138	198
営業外費用		
支払利息	66	64
固定資産除売却損	5	18
その他	24	29
営業外費用合計	95	112
経常利益	1,147	1,297
特別利益		
過年度固定資産税還付金	84	—
特別利益合計	84	—
税金等調整前四半期純利益	1,231	1,297
法人税、住民税及び事業税	339	392
法人税等調整額	222	91
法人税等合計	561	483
少数株主損益調整前四半期純利益	670	814
少数株主利益	7	17
四半期純利益	663	796

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	670	814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△170	123
繰延ヘッジ損益	146	38
為替換算調整勘定	△48	9
その他の包括利益合計	△72	171
四半期包括利益	598	985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	601	965
少数株主に係る四半期包括利益	△2	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,231	1,297
減価償却費	841	849
のれん償却額	38	38
賞与引当金の増減額(△は減少)	△483	△496
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22	△20
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14	9
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△42	△5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	9
受取利息及び受取配当金	△27	△28
支払利息及び社債利息	66	64
売上債権の増減額(△は増加)	△1,782	△2,690
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,238	△366
仕入債務の増減額(△は減少)	△48	1,016
未払費用の増減額(△は減少)	462	79
その他	△179	562
小計	△6,180	320
利息及び配当金の受取額	24	28
利息の支払額	△67	△67
法人税等の支払額	△616	△88
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,839	191
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,754	△1,511
有形固定資産の売却による収入	0	403
投資有価証券の取得による支出	△68	△1
貸付けによる支出	△1	△68
貸付金の回収による収入	18	29
その他	△69	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,874	△1,175
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,821	660
長期借入れによる収入	1,000	2,100
長期借入金の返済による支出	△646	△748
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△517	△517
少数株主への配当金の支払額	△0	—
社債の償還による支出	△47	△7
その他	△18	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,590	1,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,129	482
現金及び現金同等物の期首残高	4,563	2,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,434	3,182

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,327	26,414	2	31,744	-	31,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	439	-	12	451	△451	-
計	5,766	26,414	15	32,196	△451	31,744
セグメント利益	1,313	296	4	1,614	△509	1,104

- (注) 1.セグメント利益の調整額△509百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失の計上はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,750	24,388	2	30,142	-	30,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	411	-	11	422	△422	-
計	6,161	24,388	14	30,564	△422	30,142
セグメント利益	1,549	109	3	1,662	△450	1,211

- (注) 1.セグメント利益の調整額△450百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失の計上はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。